

産学連携アントレ教育 群馬高専 プレ講座を開催

視覚看護師が講師を務め、アソフィラキシー



留学生が金箔貼り体験 北陸先端大が日本文化研修

北陸先端科学技術大学院大学は、11月21日に今年度2回目の日本文化研修を実施し、留学生7名と沖縄科学技術大学院大学の研修職員1名が、小松市の加賀伝統工芸村ゆのくにの森で、金箔貼りの体験を行った。写真

は、ほとんどの参加者は金箔を扱ったことがなく、最初は少し緊張した様子だったが、1万分の1冊という薄い金箔を使用して、丸盆などに型抜きや金粉、スクラッチアートを施

し、オリジナル作品を作りあげた。また、体験後は、は抜けるような青空と紅葉の美しい村内を散策し、和紙作りなど他の伝統工芸も見学した。同研修を通して学生間の交流も深まり、日本の伝統文化への興味を広げる有意義な機会となった。



留学生らが高校生と国際教育交流 異文化間能力育成研修にも参加(広島大)

広島大学短期交換留学プログラム(HUSA)留学生と総合科学部国際共創学科学生の45人が11月11日、広島県立日影館高校と共同で異文化間能力研修と「おもてなしプラン」国際教育交流を行った。「おもてなし国際教育交流」への参加は9回目。

総合科学部国際共創学科生は、アメリカ・イギリス・フランス・ニュージブラント・スペイン・フィンランド・ドイツ・エジプト・コロンビア・韓国・中国・台湾・香港・タイ・日本出身の45名

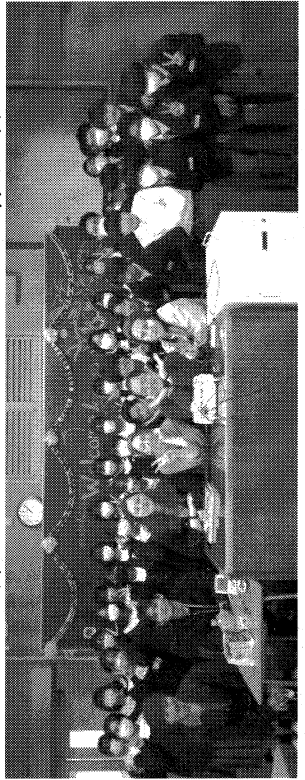
日影館高校生徒206人と広島大学生45人の約250人が参加する大規模な国際教育交流となった。国際教育交流では、ドイツからの留学生によるスピーチによる自己紹介、グループワーク



やクイズを実施。英語と日本語による司会で留学生と地域の皆様とをつなぎ、新しい異文化体験の場を作った。

各教室では世界の留学生と高校生をつなぐアクティビティを留学生が考案して実践するとともに、高校生は日本文化を紹介。吉舎の街歩きでは高校生から町の歴史と文化を学んだ。留学生には地域の皆様と温かく迎えられる心温まる体験となった。

HUSA留学生は、グローバルインターンシップⅠ：日本社会における異文化間能力「グローバルインターンシップⅡ：日本の地域社会と協働する異文化間実習」「日本社会とジェンダー」(恒松直美森戸国際高等教育学院准教授担当)を受講している。



異文化間能力育成実習
は日本文化を紹介。吉舎の街歩きでは高校生から町の歴史と文化を学んだ。留学生には地域の皆様と温かく迎えられる心温まる体験となった。